ベネズエラ情勢（内政・外交：令和４年９月）

１　内政

（１）　新型コロナウイルス感染症対策関連

	新規症例数	累計症例数	新規死者数	累計死者数	累計治癒数
1日	99名	542,607名	0名	5,796名	535,002名
2日	97名	542,704名	1名	5,797名	535,085名
3日	170名	542,874名	1名	5,798名	535,208名
4日	78名	542,952名	3名	5,801名	535,325名
5日	73名	543,025名	1名	5,802名	535,511名
6日	98名	543,123名	1名	5,803名	535,630名
7日	81名	543,204名	1名	5,804名	535,759名
8日	179名	543,383名	1名	5,805名	535,892名
9日	211名	543,594名	0名	5,805名	536,052名
10日	165名	543,759名	2名	5,807名	536,105名
11日	52名	543,811名	2名	5,809名	536,134名
12日	21名	543,832名	0名	5,809名	536,250名
13日	41名	543,873名	0名	5,809名	536,361名
14日	57名	543,930名	0名	5,809名	536,460名
15日	127名	544,057名	0名	5,809名	536,557名
16日	33名	544,090名	0名	5,809名	536,727名
17日	45名	544,135名	2名	5,811名	536,805名
18日	75名	544,210名	0名	5,811名	536,905名
19日	38名	544,248名	1名	5,812名	537,041名
20日	22名	544,270名	2名	5,814名	537,152名
21日	40名	544,310名	0名	5,814名	537,331名
22日	45名	544,355名	0名	5,814名	537,542名
23日	50名	544,405名	0名	5,814名	537,707名
24日	45名	544,450名	0名	5,814名	537,759名
25日	75名	544,525名	0名	5,814名	537,792名
26日	6名	544,531名	0名	5,814名	537,849名
27日	89名	544,620名	0名	5,814名	537,906名
28日	67名	544,687名	0名	5,814名	538,033名
29日	73名	544,760名	0名	5,814名	538,083名
30日	43名	544,803名	0名	5,814名	538,128名

（２） その他

（ア） １６日、グアイド氏は、暫定大統領府並びに２０１５年国会の業績を報告するイベントを開催した。

２　外交

（１）　ピメンテル・アフリカ担当外務次官のアフリカ諸国訪問

（ア）　５日、ベネズエラとタンザニアは、二国間協力枠組み合意及び両国外務省間政策協議メカニズムの設立に向けたMOUに署名した。

（イ）　６日、ピメンテル・アフリカ担当外務次官は、Adolf Mkendaタンザニア教育・科学技術大臣と、教育分野における二国間協力等に関し、会合を実施した。

（ウ）　８日、ピメンテル・アフリカ担当外務次官は、Pindi Chanaタンザニア天然資源・観光大臣と、二国間の観光分野における協力の重要性に関し、会合を実施した。

（エ）　８日、ピメンテル・アフリカ担当外務次官は、Saidi Yakubuタンザニア文化・芸術・スポーツ省長官補と、二国間の文化・芸術・スポーツ分野における協力に関し、会合を実施した。

（オ）　８日、ピメンテル・アフリカ担当外務次官は、Manasseh Nshutiルワンダ東アフリカ問題担当外務大臣と、両国間の二国間及び多国間協力の強化に関し、会合を実施した。

（カ）　８日、ピメンテル・アフリカ担当外務次官は、John Mulimbaウガンダ地域問題担当外務大臣と、二国間関係の強化に関し、会合を実施した。

（キ）　１１日、ピメンテル・アフリカ担当外務次官は、ナッバンジャ・ウガンダ首相と、二国間協力に関し、会談を実施した。

（２）　ベネズエラ・コロンビア二国間関係

（ア）　７日、プラセンシア新駐コロンビア・ベネズエラ大使は、ペトロ・コロンビア大統領に対し、信任状を捧呈した。

（イ）　８日、マドゥーロ大統領は、メンドーサ・コロンビア商業・産業・観光大臣と、二国間関係の強化に関し、会談を実施した。

（ウ）　９日、マドゥーロ大統領は、２６日よりベネズエラ・コロンビア間の国境及び両国間の航空便の運航を再開する旨発表した。

（エ）　１３日、マドゥーロ大統領は、ペトロ・コロンビア大統領からの書簡での要請を受け、ベネズエラはコロンビア政府とELN間の和平交渉再開の仲介国となることを了承した旨発表した。

（オ）　１９日、マドゥーロ大統領は、２６日のベネズエラ・コロンビア間国境の再開に向けて、両国が共同安全計画のための調整を開始した旨発表した。

（カ）　２６日、ベネズエラ・コロンビア間をつなぐシモン・ボリバル橋にて、国境再開の式典が開催され、ペトロ・コロンビア大統領と、プラセンシア駐コロンビア・ベネズエラ大使、ベルナル・タチラ州知事、アラグアジャン運輸大臣が出席した。

（キ）　２６日、マドゥーロ大統領は、ベネズエラ・コロンビア国境の再開は、両国の友好協力関係を回復させるための大きな一歩であるとし、ペトロ・コロンビア大統領への感謝を表明した。

（３）　アル・ガイスOPEC事務局長のベネズエラ訪問

（ア）　１３日、ファリア外相は、アル・ガイスOPEC事務局長のベネズエラ訪問を歓迎した。

（イ）　１４日、マドゥーロ大統領は、アル・ガイスOPEC事務局長との会談を実施した。

（ウ）　１４日、デルシー・ロドリゲス副大統領は、アル・ガイスOPEC事務局長と、石油市場の安定化に関し、会

談を実施した。

（エ） １４日、アイサミ経済担当副大統領兼石油大臣は、アル・ガイス OPEC 事務局長と、石油市場動向及び OPEC とベネズエラ間の協力強化に関して、会談を実施した。

（４） Botes 南ア国際関係・協力次官のベネズエラ訪問

（ア） １５日、ヒル欧州担当外務次官は、Botes 南ア国際関係・協力次官と、二国間アジェンダに関して、会談を実施した。

（イ） １５日、アギレラ農業生産性・土地省畜産開発次官は、Botes 南ア国際関係・協力次官と、農業協力の関心分野に関して、会談を実施した。

（ウ） １５日、ビジェガス文化大臣は、Botes 南ア国際関係・協力次官と、文化協力に関して、会談を実施した。

（エ） １６日、マルティネス・エコ鉱山開発省調査経済投資担当次官は、Botes 南ア国際関係・協力次官、鉱物資源分野における新たな協力に関して、会談を実施した。

（オ） １６日、ピメンテル・アフリカ担当外務次官は、Botes 南ア国際関係・協力次官と、二国間関係の強化に関し、会談を実施した。

（５） 第７７回国連総会

（ア） ２４日、ファリア外相は、国連総会一般討論演説にて、覇権主義的世界モデルの終焉を認識する必要性と、多極構造的かつ異文化受容的な世界モデル形成の必要性を主張するマドゥーロ大統領の書簡を読み上げた。

（イ） 国連総会出席に際する今次訪米中に、ファリア外相は以下の国並びに国際機関との会談を実施した。

・ １９日、ファリア外相は、グリフィス国連事務次長（人道問題担当・OCHA）と、会談を実施した。
・ １９日、ファリア外相は、サレー・エリトリア外相と、二国間協力の強化に関し、会談を実施した。
・ １９日、ファリア外相は、セラコビッチ・セルビア外相と、二国間友好関係の深化に関し、会談を実施した。
・ １９日、ファリア外相は、マイタ・ボリビア外相と、第三回ベネズエラ・ボリビア混合委員会の開催に向けた、二国間の友好協力関係の強化に関して、会談を実施した。
・ １９日、ファリア外相は、グテーレス国連事務総長と、ベネズエラの経済社会状況の進展に関して、会談を実施した。
・ １９日、ファリア外相は、モンカダ・ニカラグア外相と、二国間の友好関係強化に関して、会談を実施した。
・ １９日、ファリア外相は、マーリキー・パレスチナ外務庁長官と会談を実施し、パレスチナに対する支持を伝えた。
・ １９日、ファリア外相は、ラムディン・スリナム外相と、政治、財政、エネルギー、農業、文化等の分野における協力アジェンダに関して、会談を実施した。
・ １９日、ファリア外相は、ゴンザルベス・セントビンセント及びグレナディーン諸島首相と、二国間の友好協力関係の強化に関して、会談を実施した。
・ ２０日、ファリア外相は、グリンスパン UNCTAD 事務局長と、ベネズエラにおける持続可能な開発の進展に関して、会談を実施した。
・ ２０日、ファリア外相は、ブラウン・アンティグア・バーブーダ首相と、多極化世界構築のための関係強化に関して、会談を実施した。
・ ２０日、ファリア外相は、マグノ東ティモール外相と、二国間関係の深化に関して、会談を実施した。

・　２０日、ファリア外相は、アル・ザヤーニ・バーレーン王国外相と、多国間主義の推進に関して、会談を実施した。
・　２０日、ファリア外相は、ランダ・ペルー外相と、二国間関係進展のための協力に関して、会談を実施した。
・　２０日、ファリア外相は、アルバレス・スペイン外相と、国家主権と民族自決に対する尊重を基盤とした良好な関係の維持に関して、会談を実施した。
・　２０日、ファリア外相は、王毅中国外相と、二国間の協力関係強化に関して、会談を実施した。
・　２０日、ファリア外相は、アルセ・ボリビア大統領、カスティージョ・ペルー大統領及びフェルナンデス・アルゼンチン大統領と、それぞれ立ち話を行った。
・　２１日、ファリア外相は、エル＝マングーシュ・リビア外相と、二国間の協力関係強化に関して、会談を実施した。
・　２１日、ファリア外相は、シャワ・ジンバブエ外相と、二国間の協力関係強化に関して会談を実施し、両国に適用されている一方的かつ非合法な措置に対する拒絶を表明した。
・　２１日、ファリア外相は、ラヴロフ・ロシア外相と、二国間の友好協力関係の深化継続を確認し、両国間の協議計画（Plan de Consultas）を、２０２３－２０２６年の期間に向けて更新した。同時に、ファリア外相は、プーチン・ロシア大統領からの友好勲章を、ラヴロフ・ロシア外相の手により授与された。
・　２１日、ファリア外相は、ラマムラ・アルジェリア外相と、二国間の友好協力関係に関して、会談を実施した。
・　２１日、ファリア外相は、Mohamed Salem Ould Salek「西サハラ」代表と、双方の協力関係の進展に関して、会談を実施した。
・　２１日、ファリア外相は、ミクダード・シリア外相と、政治、経済、貿易関係の協力強化に関して、会談を実施した。
・　２１日、ファリア外相は、トレウベルディ・カザフスタン外相と会談を実施し、外交・公用旅券の査証免除に関する合意に署名した。
・　２１日、ファリア外相は、ブラウン・トリニダード・トバゴ外相と、二国間の協力関係強化に関して、会談を実施した。
・　２２日、ファリア外相は、Andrés Allamand イベロアメリカ事務局長と会談を実施した。
・　２２日、ファリア外相は、マケイ・ベラルーシ外相と、二国間の協力関係強化及び、基本的人権の保証に関して、会談を実施した。
・　２２日、ファリア外相は、ムラムラ・タンザニア外相と、多国間主義等の推進に関して、会談を実施した。
・　２２日、ファリア外相は、アルバレス・ドミニカ共和国外相と、二国間の協力関係に関して、会談を実施した。
・　２２日、ファリア外相は、レイナ・ホンジュラス外相と、二国間の協力関係強化に関して、会談を実施した。
・　２２日、ファリア外相は、レイバ・コロンビア外相と、二国間アジェンダに関して、会談を実施した。
・　２２日、ファリア外相は、ボレル EU 外務・安全保障政策上級代表と、尊重と平和的外交の枠組みにおいて、ベネズエラ・EU 間の関係強化を継続することで合意した。
・　２２日、ファリア外相は、ドリュー・セントクリストファー・ネイビス首相と、二国間の友好協力関係の強化継続にかかる二国間アジェンダに関して、会談を実施した。
・　２２日、ファリア外相は、タル・サル・セネガル外相と、二国間の友好協力関係の強化に関して会談を実施し、様々な分野における協力合意の再稼働にかかるメカニズムの検討を行った。
・　２２日、ファリア外相は、ファイサル・サウジアラビア外相と、二国間の協力関係に関して、会談を実施した。

・　２２日、ファリア外相は、バイラモフ・アゼルバイジャン外相と、二国間関係に関して、会談を実施した。
・　２３日、ファリア外相は、ピエール・セントルシア首相と、二国間の友好と補完的関係の強化に関して、会談を実施した。
・　２３日、ファリア外相は、ダルー・ドミニカ国外相と、二国間関係の強化に関して、会談を実施した。
・　２３日、ファリア外相は、チャブシュオール・トルコ外相と、二国間協力の深化に関して、会談を実施した。
・　２３日、ファリア外相は、モラティノス国連文明の同盟上級代表と会談を実施した。
・　２３日、ファリア外相は、コンマシット・ラオス外相と、二国間の協力関係強化に関して、会談を実施した。
・　２３日、ファリア外相は、コロシ国連総会議長と会談を実施し、国際法及び国連憲章の原則を順守することの必要性で一致した。
・　２３日、ファリア外相は、クラヴィーニョ・ポルトガル外相と、二国間の友好協力関係の強化に関して、会談を実施した。
・　２３日、ファリア外相は、ムフリッディン・タジキスタン外相と、二国間関係強化の一環として、外交・公用旅券の査証免除合意に署名した。
・　２３日、ファリア外相は、アンドール・グレナダ外相と、二国間の友好協力関係への取り組みに関して、会談を実施した。
・　２４日、ファリア外相は、ジャイシャンカル・インド外相と、世界の政治経済状況に関して、会談を実施した。
・　ファリア外相は、オドンゴ・ウガンダ外相と、二国間の新たな協力分野に関して、会談を実施した（日付記載無し）。
・　ファリア外相は、アブドラヒアン・イラン外相と、二国間の戦略的協力関係強化に関して、会談を実施した（日付記載無し）。

（ウ）　ファリア外相及び各担当外務次官は、国連総会のマージンで開催された以下の会合等に出席した。

・　１９日、ファリア外相は、CELAC、IDB 及びカリブ諸国連合の代表たちとの朝食会に参加し、会談を実施した。
・　２１日、ファリア外相は、非同盟運動の会合に参加し、ユニラテラリズムへの警鐘を鳴らした。
・　２１日、モリーナ多国間関係担当外務次官は、「民族的または種族的、宗教的および言語的少数者に属する者の権利に関する宣言」採択 30 周年記念会合に出席し、あらゆる共同体への、迫害、差別、不寛容に対するベネズエラの拒絶を表明した。
・　２２日、ファリア外相は、国連憲章を守る友好国グループの閣僚会合に参加した（ロシア、キューバ、ベラルーシ、中国外相参加）。
・　２２日、ペーニャ・ラテンアメリカ担当外務次官は、第７７回国連総会のマージンで開催されたイベロアメリカ外相会合に参加し、ベネズエラの多国間主義へのコミットメントを表明した。
・　２３日、ロドリゲス・アジア・中東・オセアニア担当外務次官は、ミン・ベトナム副首相と、第７７回国連総会のマージンで会談し、平和的外交の継続を確認した。
・　２３日、ファリア外相は、第２２回米州ボリバル同盟政治委員会に参加し、英国裁判所によるベネズエラ所有の金に関する判決及び、Emtrasur 航空の航空機差し押さえに対して抗議した。
・　２３日、モリーナ多国間関係担当外務次官は、G77＋中国の閣僚級会合に出席した。
・　２４日、ロン北米担当外務次官は、第７７回国連総会のマージンで開催された、パレスチナに関する非同盟運動の会合に参加し、パレスチナに対する無条件の支持と、パレスチナに対するイスラエルのアパルトヘイト政策を非難した。

（６）　マイタ・ボリビア外相のベネズエラ訪問

（ア）　２８日、マドゥーロ大統領は、マイタ・ボリビア外相と、二国間の戦略的関係強化に関して、会談を実施した。

（イ）　２８日、デルシー・ロドリゲス副大統領は、マイタ・ボリビア外相と、二国間の協力関係強化に関して、会談を実施した。

（ウ）　２８日、ファリア外相は、マイタ・ボリビア外相と、二国間の協議メカニズム及び政策協定に関して会談を実施し、多岐にわたる分野での協力強化に関する共同宣言に署名した。

（エ）　２８日、マイタ・ボリビア外相は、ファリア外相同伴のもと、国立霊廟を訪問し、シモン・ボリバルの石棺に献花した。

（７）　その他

（ア）　１日、ベネズエラ政府は、同日付外務省声明を通じて、同日発生したフェルナンデス亜副大統領殺害未遂に対する拒絶の意を表明した。

（イ）　５日、ベネズエラ政府は、同日付外務省声明を通じて、同日発生した在アフガニスタン・ロシア大使館に対するテロ行為による同大使館の死傷者に対し、哀悼の意を表明した。

（ウ）　５日、ファリア外相及びビジェガス文化大臣は、ペレス新 UNESCO 代表部ベネズエラ大使と、文化分野におけるベネズエラのアジェンダに関し、会合を実施した。

（エ）　８日、ファリア外相は、米国によるアレックス・サーブ特使の誘拐は、国際法違反であると、強く非難した。

（オ）　８日、マドゥーロ大統領は、同日付外務省声明を通じて、エリザベス英女王陛下の崩御に対し、哀悼の意を表明する声明を発表した。

（カ）　８日、ロドリゲス・アジア・中東・オセアニア担当外務次官は、Shalihin bin Annuar 新駐ベネズエラ・マレーシア臨時代理大使を歓迎した。

（キ）　９日、ヘスス・サラサル駐ロシア・ベネズエラ大使は、ラヴロフ・ロシア外相に信任状の写しを提出した。

（ク）　９日、ファリア外相は、モイネス・パナマ外相と、二国間関係の強化に関し、電話会談を実施した。

（ケ）　１２日、ファリア外相は、アントニオ・アンゴラ外相と、二国間関係の強化に関し、電話会談を実施した。

（コ）　１２日、ファリア外相は、Abhishek Singh 駐ベネズエラ・インド大使と、二国間協力アジェンダに関し、会談を実施した。

（サ）　１３日、ファリア外相は、アル・ガイス OPEC 事務局長のベネズエラ訪問を歓迎した。

（シ）　１３日、ロドリゲス・アジア・中東・オセアニア担当外務次官は、科学技術産業フェアに参加するためにベネズエラを訪問したイラン代表団を空港にて出迎えた。

（ス）　ロルカ・エコ社会主義大臣及びバレロ企画省土地企画次官をヘッドとするベネズエラ代表団は、１３日から１５日まで韓国で開催された国連緑の気候基金グローバル計画会議に出席した。

（セ）　１４日、マドゥーロ大統領は、カルデロン元 OPEC 事務局長に勲章を授与した。

（ソ）　１５日、ファリア外相は、ロウレンソ・アンゴラ大統領の就任式（再任）に出席するため、アンゴラを訪問した。

（タ）　１５日、Biomorgi 新駐シリア・ベネズエラ大使は、ミクダード・シリア外相に信任状の写しを提出した。

（チ）　１６日、ファリア外相は、アルゼンチンで差し押さえられていた Emtrasur 社の航空機の乗務員１１名の帰

国を歓迎した。

（ツ）　１７日、El-Din Amin 新駐ベネズエラ・エジプト大使がベネズエラに到着した。

（テ）　２３日、メネンデス企画担当副大統領は、国連ベネズエラ事務所との、持続可能な開発に関する協力枠組み合意に署名し、デルシー・ロドリゲス副大統領が右合意に祝意を示した。

（ト）　２４日、ファリア外相は、人民サミット（Cumbre de los Pueblos）に出席し、ベネズエラの革命プロセスを導く社会主義的価値観を復唱した。

（ナ）　２６日、グアイド氏は、イタリア総選挙の結果を受けて、同選挙で勝利した右派連合を率いるメローニ氏に祝意を表明した。

（ニ）　２７日、グアイド氏は、マドゥーロ大統領をベネズエラにおける人権侵害の責任者として非難し、国連事実調査団のマンデート更新を国際社会に要請した。

（ヌ）　２７日、マドゥーロ大統領は、ハリケーン・イアンの被害を受けたキューバに連帯の意を表明した。

（ネ）　２９日、マドゥーロ大統領は、オランダに対し、コロンビア産麻薬の海上輸送を避けるために、アルバ、キュラソー、ボネールの自治政府がベネズエラ政府と直接連携を行うべきであると主張し、本件に関するベネズエラ・オランダ間の調整実施を呼びかけた。

（ノ）　２９日、ピメンテル・アフリカ担当外務次官は、信任状捧呈前の El-Din Amin 新駐ベネズエラ・エジプト大使と、二国間の友好協力関係及び今後数年間の両国の協働方針に関して、会談を実施した。

（ハ）　３０日、ベネズエラ外務省は、隣国ガイアナとの係争地であるエセキボに関して、国連総会でのガイアナ側演説における歪曲と操作を非難するコミュニケを発表した。

（了）